

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 11日

事業所名 児童デイサービスleo

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2		訓練室は2部屋あり、更に活動部屋もあり、広々と活動が出来る様にしています。	児童が走れるスペースと、他に広い訓練室もあります。
	2	職員の配置数は適切である	4	1		児童指導員の他に訓練士2名配属	適切な人数を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		2	3		車椅子を使用する児童がいない為、特にバリアフリー設備にはしていません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		5		毎朝ミーティングを行っています。	毎朝必ず業務改善の為に振り返りをし、目標設定を行い話し合いをしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2			定期的アンケート調査を行っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2			ホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	1		現在は行っていないが、今後より良くする為検討
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		研修情報を常に職員へ提供し、それぞれが率先して研修を受けています。	定期的な外部講師による研修も行っている。7月に職員全員でSST研修を行う予定です。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1			定期的なアセスメントだけではなく、お迎え時にも保護者へ聞き取りをしながら分析をし、一人ひとりに沿った計画書を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	3	1		アセスメントシートを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			会議や研修、ミーティングの機会に、職員でアイデアを出し合っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			季節や行事、利用児の日々様子等に合わせた工夫する努力をしている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1		集団での設定と、個別での設定も行っている。	している。特に長期休暇は毎日朝からの利用となる為、職員で数回会議を行い支援内容を話し合っ決めていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1			毎朝行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	4			終了後では送迎等で時間が取れない場合もある為、その場合は翌日に行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	2			支援記録・日報を必ず記入し記録している
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	1	4			職員間で定期的に会議をし、一人ひとりの障害の特性に沿った支援を行っています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	5				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	5			事業所での様子もこ まめに伝え、些細な 事でも状況共有しや すい雰囲気を中心に けている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	2	2	1		現在医療的ケアが必要な子の受け入れは無し
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	2	3			必要であれば連絡を取り合い情報交換を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	1	3	1		令和3年に開設したばかりの為、学校卒業した児童が いませんが、今後その様な事があれば情報提供をし ていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	2	1	2		現在行えていませんが、今後検討していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある		2	3	休日に近くの公園に出 かけ、地域の人と顔を 合わせる機会と作る様 にしている。	コロナ禍・インフル感染者が増えてきたので出来てい ない。今後開催検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	1	4			現在参加が出来ていない為、今後参加検討
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	5				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている		3	2		コロナが落ち着いてきたら行っていきたい。
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	4	1			契約時に資料をお渡ししながら一つ一つ説明をしてい ます。更に分かりやすくする為、資料見直ししていま す。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	5				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		3	2		現在行えていません。交流や情報交換の場にもなる ので、今後検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	5				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	1	4		行事等の様子を玄関 に掲示している。	SNSを活用し、活動の様子を発信している。
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	1	2	2		コロナ禍にて行えていない

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2			職員には周知しているが、保護者への周知がきちんと出来ていない。今後保護者にも周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2			年に2回(6月・12月)に委員会を開催しています。しっかりと説明をしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1			現在アレルギーがある子どもはいませんが、いる場合は安全面を第一に考え必ず医師の指示書に基づき対応します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		1		作成後は必ずミーティングを情報共有をしている。